

段ボール市民劇団 による

# ボビーのストーリー

## 障害のある人への合理的配慮を考える 参加型演劇ワークショップ

2025.1.18<sup>土</sup>  
14:30~16:30

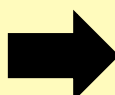
@新潟市中央図書館 ほんぽーと  
多目的ホール

### “ボビーのストーリー”とは？

障害のある人が、障害を理解されずに苦しみ、普通に過ごせないことは少なくありません。この演習の主人公・ボビーも、地域での暮らしの中で苦しむ一人です。自閉症のあるボビーは、初めて訪れたカフェで、うまく注文ができずにトラブルになってしまいます。



▲注文の列にならぶボビー



▲様々な刺激が重なりパニックに

では、彼のために、私たちは具体的にどのような合理的配慮ができるのでしょうか？

このワークショップでは、まちなかでのトラブルの場面でどのような合理的配慮が可能か、参加型演劇の手法を用いて、参加者全員で議論をします。

まず、どのような”トラブル”が起きたのか、その後どうなったのか、実演を観ていただきます。そして、2回目の実演では、参加者のあなたに、「この場面ではこうした方が良い」と思ったところで演技に「ストップ！」をかけていただきます。そして、あなたは舞台の中に入って、ボビーに提供する合理的配慮を実演するのです。身体を使って実演をすることで、議論は格段に深まっていきます。ぜひ一緒に、合理的配慮を考えませんか？

主催 新潟TSネット  
段ボール市民劇団ネット  
後援 新潟地区手をつなぐ育成会

参加費 無料  
申込み 右のQRコードから  
お申込みください。  
問合せ 080-1497-4412 (小出)

